

NTT東西の専用役務について

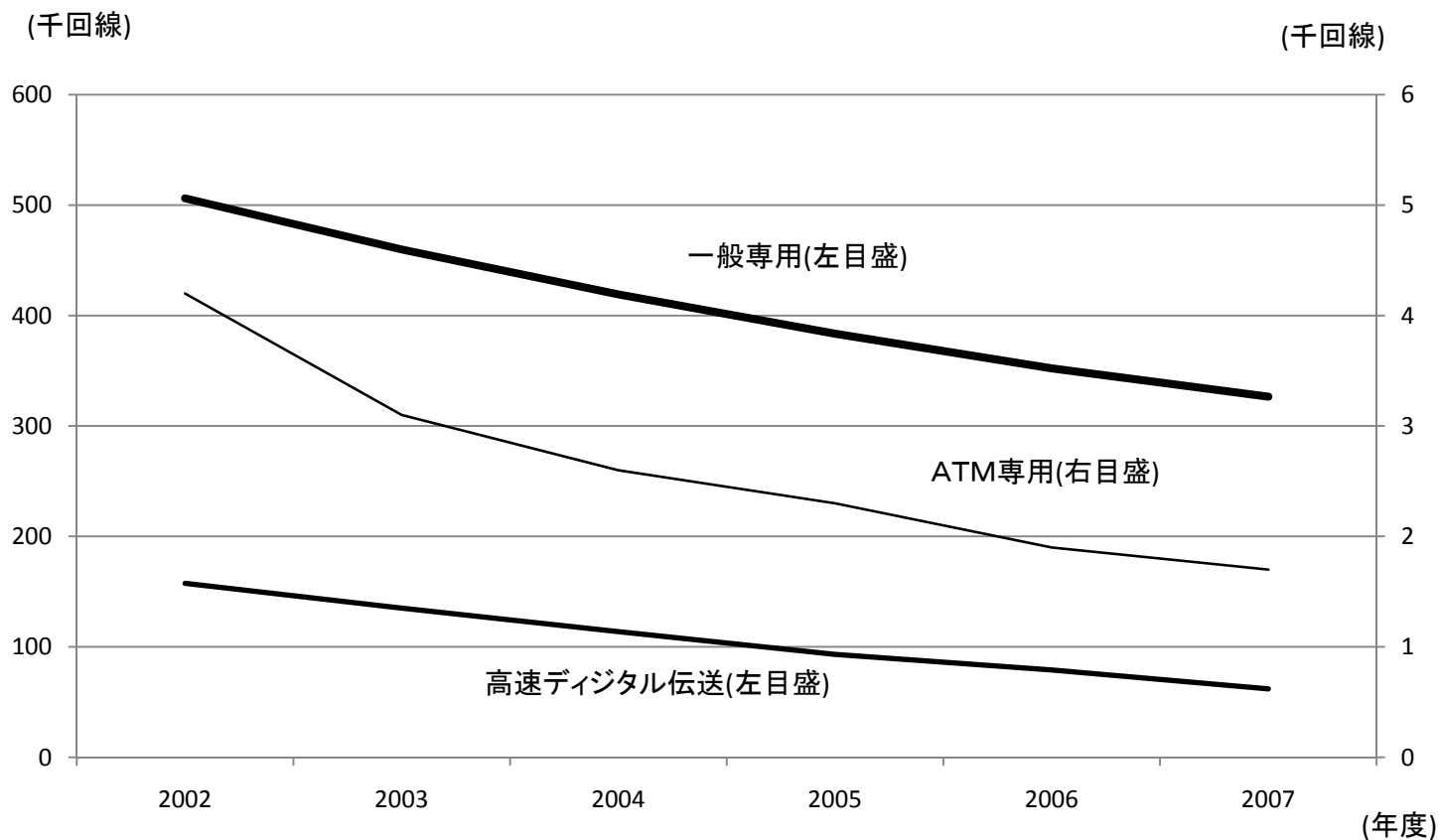
電気通信サービスに係る料金政策の
在り方に関する研究会
(第4回)

2008年8月25日

専用役務の比較

	サービス概要
一般専用	電話及びファクシミリ通信に適したアナログタイプの帯域品目(3.4kHz等)と、データ伝送に適したデジタルタイプの符号品目(50b/s～9,600b/s)があり、主に事業所間の内線電話や遠隔監視等で利用されているもの。
高速デジタル	64kbps～6Mbpsまでの情報伝送が可能な専用サービス。企業における、音声や画像、データを統合した高度な総合通信ネットワークの構築等で利用されている。
ATM専用	高速デジタル伝送とは異なるATM(非同期)伝送方式を採用することにより、0.5Mbps～600Mbpsまでの広帯域の通信ニーズに対応するデジタル専用サービス。1Mbpsごとの提供品目により最適な回線容量を選べ、また、機能や保守の差異によるラインアップの相違も実現するもの。

専用回線数の推移(NTT東西計)

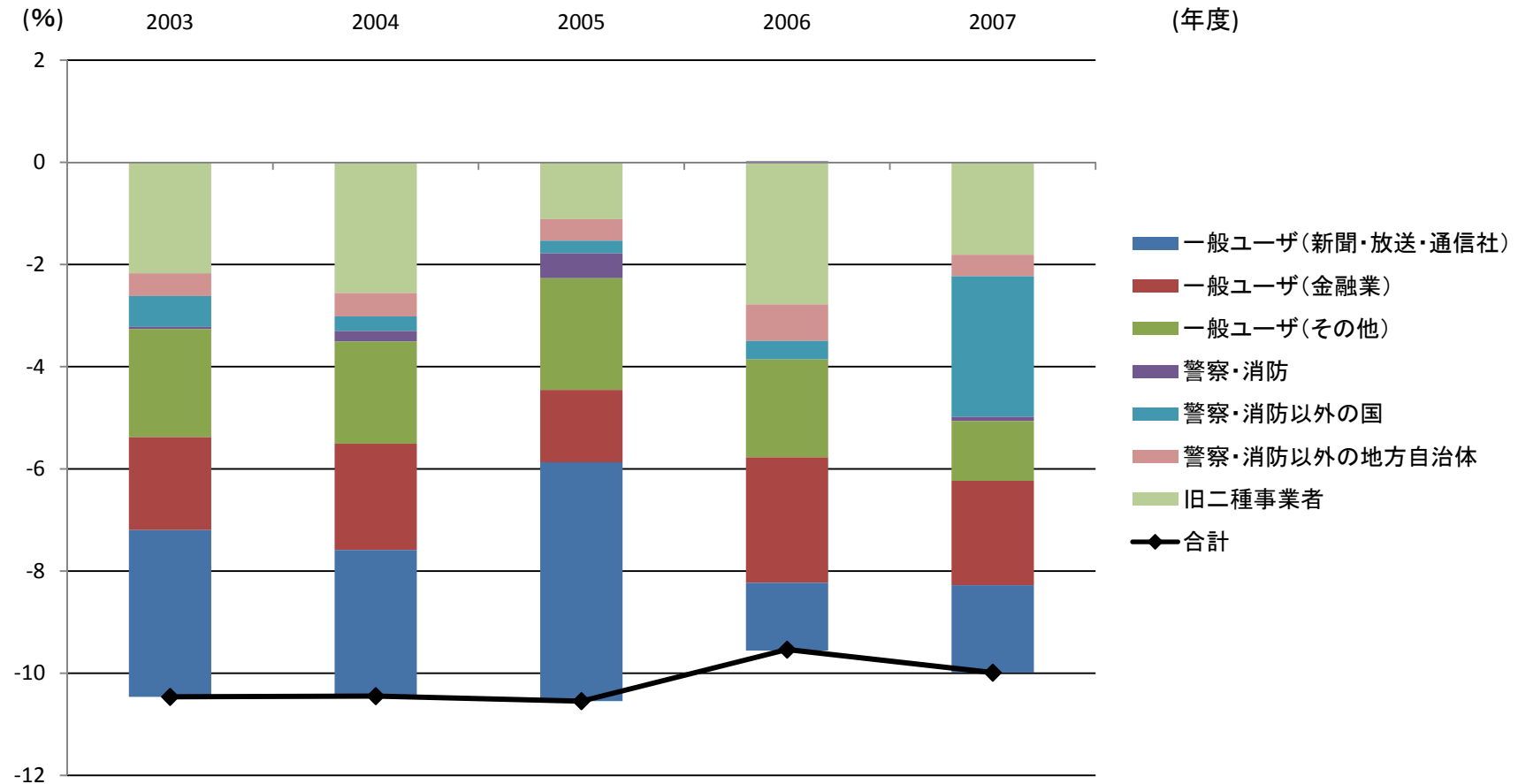


注: 本契約回線数は、NTT東西が料金設定を行ってサービス提供している場合（プライスキップの対象）のみの契約回線数を表す。

一般専用、高速デジタル伝送及びATM専用それぞれにおいて一貫して減少しており、**足元で、それぞれ約33万、約6万、約1.7千回線**となっている。

★ 次頁のシートは、対象とするサービス及びその契約回線数のデータは同じもの。

専用回線数の対前年度比変化率に対する ユーザ区分毎の寄与度分析



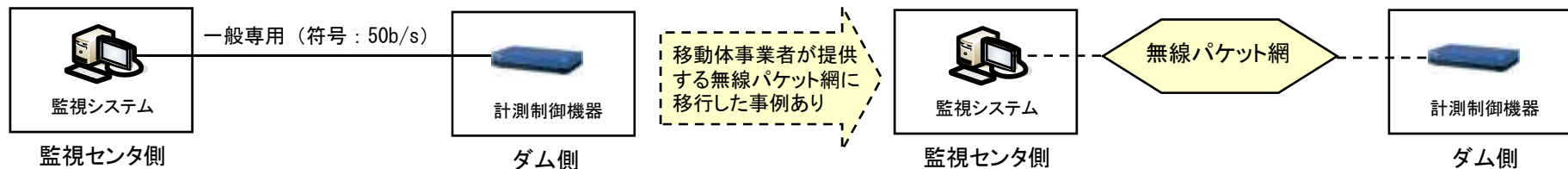
毎年度の専用回線数の減少率(約10%減)にほとんどのユーザ区分が寄与しており、専用線サービスからIP系サービスへの移行が伺える。

現行の一般専用の主な利用用途と移行可能サービス例

主な利用形態	主な利用ユーザ	移行可能サービス例
FAX通信及びデータ通信	一般ユーザ	イーサ系等のデータ伝送サービス 又はIP系サービス
PBXの内線延長	警察・消防 国・地方自治体	イーサ系等のデータ伝送サービス 又はIP系サービス(IP電話)
ダムなどの水位監視や遠隔制御	地方自治体	IP系サービス又は移動体事業者による無線サービス
警備会社の遠隔監視	一般ユーザ(その他)	IP系サービス又は移動体事業者による無線サービス
ATM(CD機)のオンライン用	一般ユーザ(金融業)	イーサ系等のデータ伝送サービス 又はIP系サービス

(参考) 一般専用を利用したNWの移行事例

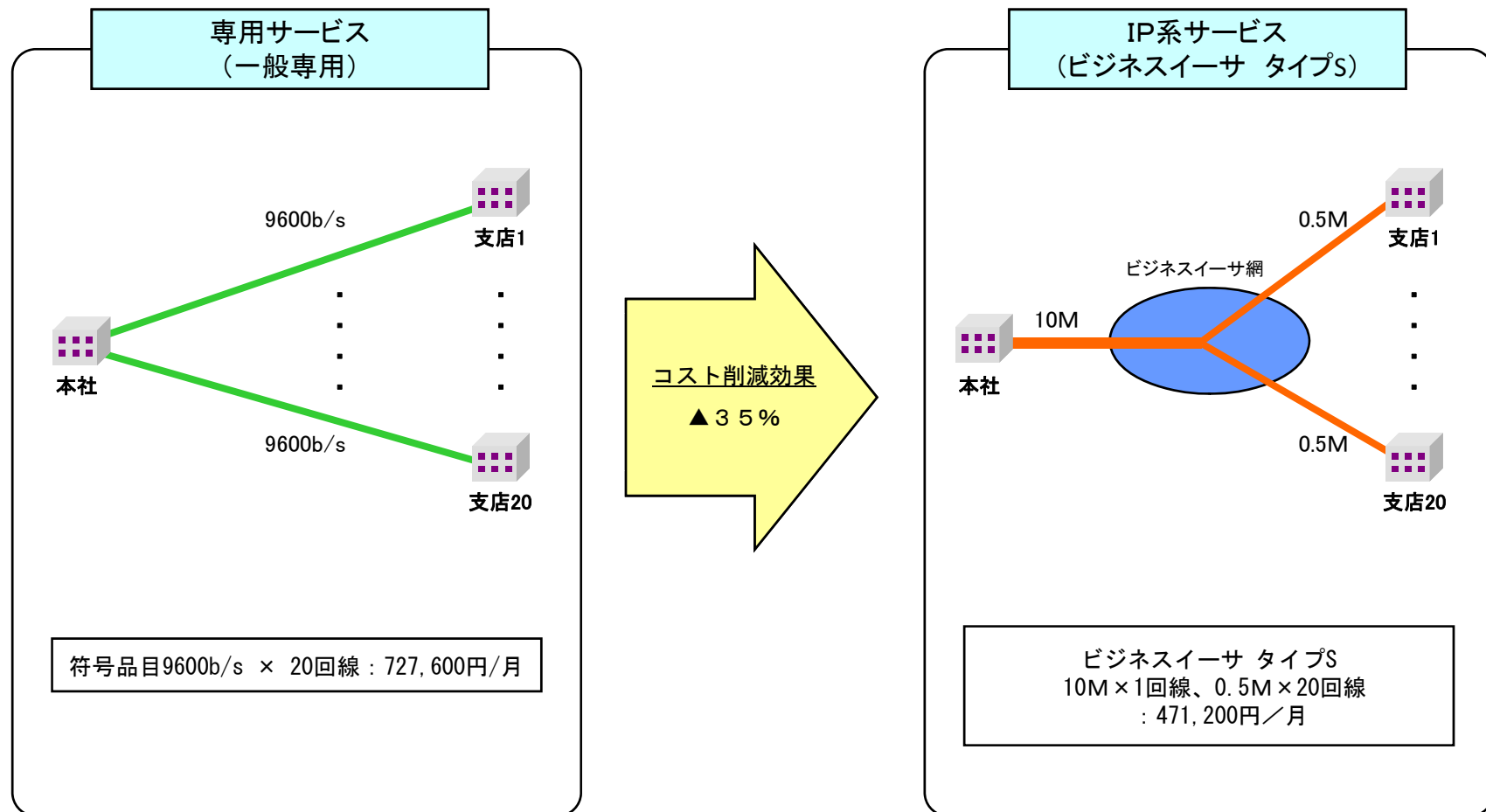
ダムの水位監視システム用回線



専用線(一般専用)とIP系サービスのサービス内容及び料金の比較の一例

※同一MA内(20km以内)に本社及び支店が20ヶ所ある場合で試算

※料金は税抜



専用線料金の変遷の概要

- ・専用線の料金は、NTT1社体制である平成8年度から平成10年度にかけて、品目別・距離段階別のコストと料金のリバランシングを目的とした料金改定を実施して以降、料金値上げとなる改定は行っていないところ。
- ・平成12年10月には、ユーザニーズ及びプライスカップ制度に対応した料金値下げ、割引サービスの拡大を実施。以降も、ユーザニーズ及び競争対抗を目的として割引を実施。

実施時期	内容
平成12年10月	・高速デジタル及びATM専用の料金値下げ (最大値下げ率：高速デジタル▲42%、ATM専用▲31%) ・高額利用割引の拡大 ・長期継続利用割引(3年)の割引率拡大(▲5%→▲7%)
平成13年 1月	・学校向け特別料金の提供開始(値下げ率：▲50%～▲70%)
平成13年 4月	・高速デジタルについて、HSD(ハイスーパーデジタル)6Mと比較して平均▲48%の料金となるDA(デジタルアクセス)6Mの提供開始(※)
平成14年11月	・高額利用割引の対象サービス追加と合算対象範囲の拡大(東のみ)
平成15年 5月	・高額利用割引の対象サービス追加と合算対象範囲の拡大(西のみ)
平成16年 4月	・相対契約による料金割引の開始 ・長期継続利用割引の対象サービス追加(西のみ)
平成17年 3月	・施設設置負担金の値下げ(メタル品目：72,000円→36,000円、光品目：102,000円→51,000円)

(※)HSDは、複数の回線を同一のユーザ・網インタフェース(UNI)で提供する多重アクセス、端末区間の故障時に瞬時に予備回線へ切り替える回線自動切替機能等を具備するが、DAはこれを省略し、簡素化したもの。